

ふくし教育の支援について（社協）

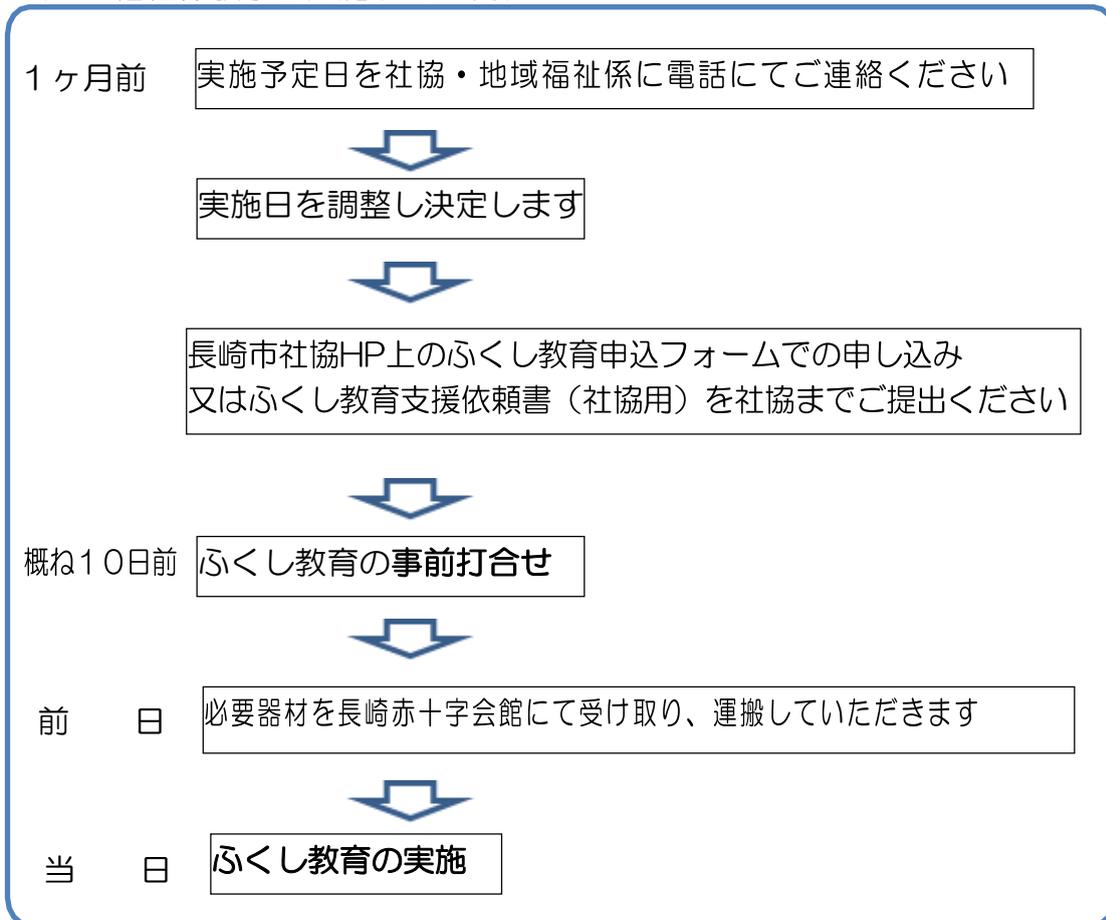
1. ふくし教育種目（体験学習）

本会でのふくし教育の支援については、以下の内容で実施しています。

 - 車いす体験
 - アイマスク体験
 - 高齢者疑似体験（シニアセット）
 - ボッチャ体験（ボッチャのみでの職員派遣は行っておりません。）

※その他の内容を希望される方はお問合せください。
2. 学習時間
学習の時間は、原則1クラス単位での体験となり、1体験につき**90分（2校時）**以上の確保をお願いします。
ボッチャ体験を行う場合は追加で**45分（1校時）**を確保ください。
3. 職員の派遣
長崎市社会福祉協議会から派遣する支援職員は、1名とします。
（支援職員の派遣の可否や日時については、ご相談ください。）
職員派遣は、**年間で1箇所につき1回1種目の派遣**とします。
※複数の体験種目を希望される団体には、指導方法・内容について本会職員が事前に指導者に説明しますので、体験については各団体様でご指導いただくようお願い致します。（器材のみの貸し出しは可能です。）
4. 申込の際の留意事項
○実施予定日の**1ヶ月前まで**に電話でお問合せください。
※実施希望日に添えない場合もありますので、なるべく日にちに余裕を持ってご連絡ください。
○事前に担当者の方と実施内容の確認や学習器材の運搬等について「打合せ」をさせていただきます。
○実施日が決定次第、本会HP上の「**ふくし教育申込フォーム**」からの申込又は「**ふくし教育支援依頼書**」の提出をお願いします。
5. 器材の借用・運搬・返却
学習に必要な借用器材については、原則**実施日の前日の16時30分まで**に長崎市魚の町の「**※長崎赤十字会館**」での受け渡しとなります。依頼者側で運搬手段の確保をお願いします。
返却については、原則**実施当日の16時30分まで**に長崎赤十字会館にご返却ください。なお、上記時間の対応が難しい場合はご相談ください。
※学習機器の貸出・返却の場所は「長崎赤十字会館」長崎市魚の町3-28です。
6. 機材の清掃
使用した器材は依頼者にて点検並びに清掃・消毒をしてお返却ください。
7. 安全の確保
参加者の安全確保のため、学習中の見守り等を行ってもらえる方を担当者の他に1名以上同席をしていただくようお願い致します。
8. 協力団体への依頼について
長崎市社会福祉協議会以外にもふくし教育の支援に協力いただいている団体への依頼も可能です。
別紙の「ふくし教育の支援について（協力団体）」をご確認の上、各団体へお問合せください。

9. 福祉体験学習実施までの流れ



10. その他

今後、ふくし教育については、学校周辺の福祉施設や地域包括支援センター等と協力・連携をして行うことで、地域の中（学校の周辺地域）で学習できる環境作りを整備していきます。

どなたでもふくし教育の学習ができるように、各福祉体験のガイド冊子を作成し、本会HP上に掲載しておりますので、ご活用ください。

また、参加者の振り返りを行う際の参考として振り返りシート（小学生用、中学生以上用）を作成しておりますので、ご活用ください。

お問合せ先

長崎市社会福祉協議会地域福祉係

住所 長崎市恵美須町4-5NBC3rdビル3F

（器材貸出し場所とは異なります。）

TEL：095-828-1281 FAX095-828-7236

Mail：volunteer@nagasaki-shakyou.or.jp

担当：野瀬、富永、田中、山口

本会HPはこちら↓



ふくし教育器材貸出し場所
 長崎赤十字会館
 住所 長崎市魚の町 3-28

※学習機器の貸出・返却場所は「長崎赤十字会館」長崎市魚の町 3-28 です。
 ＊この長崎赤十字会館は、17時で閉館となります。



器材搬入・搬出時の車の駐車場所は、下記写真の左レーン（赤十字会館入口側）のみとなり、中央、右レーンには駐車できませんので、ご注意ください。



← 駐車スペース